

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第1号  
発行月日 2007年9月25日  
発行責任者 浅沼 誠治

## 第53回地方自治研究集会決定!

今回のテーマは

### 「ちょっと待って、手数料化! ～北上市のごみ問題を考える2～」

北上市職労の自治研集会は、行政や地域の垣根を越えた率直な意見交換をする場として、「地方自治を住民の手に」をスローガンに1957年から毎年開催し、市民と共に地方自治のあり方を追求してきました。

今回取り上げるテーマは、北上市が「家庭ごみ手数料化等に係る基本方針」を打ち出し、平成20年7月の実施を目指して準備を進めていることから、「ちょっと待って、手数料化!～北上市のごみ問題を考える2～」として、家庭ごみ手数料化について考えていきたいと思ひます。

今年度の活動の方針として、これまでの勉強会的な自治研集会ではなく、研究成果の実現を目標とし、そのための手段のひとつとして自治研集会を開催します。

具体的な進め方としては、新たな試みとして自治研推進委員と自治研専門部員が一緒になってワークショップを2回開催し、基本方針の問題点を洗い出し、それを改善するためのアイデアを考え、提言という形で市当局に提出することを旨とします。

活動経過は随時お知らせしますので、ご期待下さい。

#### 【ワークショップ】

①第2回自治研推進委員会(第1回ワークショップ)

9月25日(火) 18:00～20:00 本庁5階第1・2会議室

②第3回自治研推進委員会(第2回ワークショップ)

9月27日(木) 18:00～20:00 本庁5階第1・2会議室

(ワークショップの様子をご覧になれます。お気軽にお越し下さい。)

#### 【自治研集会】

・主催 北上市職員労働組合 地方自治研究推進委員会

・日程 2007年10月6日(土) 13:00～17:00

・場所 ホテルニューヴェール北上(北上市大通り1-3-1 TEL:0197-65-0011)

・内容 開会のあいさつ、基調報告、基調講演(田口正己 立正大学社会学部教授)、市当局によるごみ手数料化の説明、自治研推進委員会からの提言、意見発表、閉会のあいさつ

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第3号  
発行月日 2007年10月3日  
発行責任者 浅沼 誠治

## 第53回地方自治研究集会を 10月6日(土)に開催します

今回のテーマは、

### 「どうなる?どうする?ごみ有料化」 ～納得のサービスと負担を考えよう!～

前回お知らせしたとおり、自治研推進委員会のワークショップで出された意見を集約し、自治研集会での提言として発表します。また基調講演、各方面からの意見発表もあります。参加者のみなさんからも意見をいただきながら、一緒に考えていきたいと思ひます。どうぞお誘いあって起こしてください。

・日時 2007年10月6日(土) 13:00～17:00

・場所 ホテルニューヴェール北上  
(北上市大通り1-3-1 TEL:0197-65-0011)

※駐車場は、北上駅前立体駐車場、北上駅前北駐車場をご利用下さい。駐車券を差し上げます。

・内容 13:00～13:15 開会あいさつ、基調報告  
13:15～14:45 基調講演

「ごみ、ちょっとまって有料化」ごみ有料化の現状と政策争点  
(立正大学社会学部教授 田口正己氏)

15:00～15:30 市当局によるごみ手数料化の説明

15:30～16:00 自治研推進委員会からの提言

16:00～16:45 意見発表

(手数料化賛成、手数料化反対、別の視点からの各意見、他)

16:45～17:00 集会報告、閉会

・主催 北上市職員労働組合 地方自治研究推進委員会

※裏面には基調講演の講師の紹介があります。ご覧ください。

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第2号  
発行月日 2007年9月28日  
発行責任者 浅沼 誠治

## 自治研推進委員会のワークショップを開催しました! 出された意見はパブリック・コメントとして提出します。

前回お知らせしたとおり、自治研集会のための新たな試みとして、自治研推進委員と自治研専門部員が一緒になってのワークショップを、下記のとおり2回開催しました。

①第2回自治研推進委員会(第1回ワークショップ)

・9月25日(火) 18:00～20:00 参加者23名

・内容:北上市「家庭ごみ手数料化等に係る基本方針」についての良い点・悪い点を考え、悪い点の改善案を考える

②第3回自治研推進委員会(第2回ワークショップ)

・9月27日(木) 18:00～20:00 参加者30名

・内容:悪い点の改善案を「提言」に作り上げ、優先順位を付ける

このワークショップでは参加者から様々な意見が出され、活発に議論を重ねました。出された意見は集約し、市当局へのパブリック・コメントとして提出することとします。パブリック・コメントの内容は、裏面をご覧ください。また、ワークショップの成果品は組合事務所に保管していますので、ご覧になりたい方はお気軽にお越し下さい。

今後は自治研集会での提言として発表するため、自治研専門部員を中心としてさらに内容について精査していきます。

## 第53回地方自治研究集会を10月6日(土)に開催します! 今回のテーマ:「どうなる?どうする?ごみ有料化」

～納得のサービスと負担を考えよう!～

・日程 2007年10月6日(土) 13:00～17:00

・場所 ホテルニューヴェール北上(北上市大通り1-3-1 TEL:0197-65-0011)

・内容 13:00～13:15 開会あいさつ、基調報告

13:15～14:45 基調講演

「ごみ、ちょっとまって有料化」ごみ有料化の現状と政策争点

(立正大学社会学部教授 田口正己氏)

15:00～15:30 市当局によるごみ手数料化の説明

15:30～16:00 自治研推進委員会からの提言

16:00～16:45 意見発表

(手数料化賛成、手数料化反対、別の視点からの各意見、他)

16:45～17:00 集会報告、閉会

・主催 北上市職員労働組合 地方自治研究推進委員会

※裏面にはパブリック・コメントの内容があります。ご覧ください。

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第4号  
発行月日 2007年10月9日  
発行責任者 浅沼 誠治

## 10月6日(土)に開催された第53回地方自治研究集会は、 160名を超える参加者と共に、北上市の家庭 ごみ手数料化について考えを深めました!

第53回自治研集会は、予定通り10月6日(土) ホテルニューヴェール北上で開催されました。市職労組合員からの参加は50名弱でしたが、それを上回る多くの市民の方の参加があり、総勢160名を超える参加者で会場は熱い空気に包まれました。

以下に、簡単ながら集会の内容を報告します。

#### 1. 基調講演

立正大学社会学部教授の田口正己氏から、「ごみ、ちょっとまって有料化～ごみ有料化の現状と政策争点」と題して、ごみ有料化を導入している先進事例の検証の報告や、北上市のごみ行政の課題等をお話いただきました。特に今回の手数料化では、提案から決定するまで市民との合意形成の議論が欠けている、などの指摘をいただきました。

#### 2. 市当局による家庭ごみ手数料化の説明

北上市生活環境部環境課 千葉茂課長補佐から、基本方針の中身の説明や、これまでに寄せられた意見等の紹介がありました。

#### 3. 自治研推進委員会からの意見発表

自治研推進委員会のワークショップで出された意見を集約し、市の方針の問題点の改善案を考え、より良い制度になるような提言として発表しました。

#### 4. 意見発表

手数料化賛成、手数料化反対の各方面からの意見を発表していただきました。さらに、参加者からも賛成・反対の各意見が出され、これに対しての田口教授からの意見もいただきました。また、多くの参加者からアンケートにご協力いただきました。こちらで集計次第報告いたします。

今回の自治研集会の内容や参加者から出された意見、集会後のアンケート結果などもまとめ、最終的に自治研推進委員会からの提言という形で、市に提出したいと考えています。

※裏面には自治研集会の新聞報道もあります。ご覧ください。

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第5号  
発行月日 2007年10月18日  
発行責任者 浅沼誠治

## 自治研推進委員会からの提案書を 10月16日(火)市に提出しました!

10月6日(土)に開催された第53回自治研集会での自治研推進委員会からの意見発表に、参加者から出された意見を盛り込み、参加者からのアンケート集計結果も加えて、自治研推進委員会からの提案書という形で市当局(市長)に提出しました。

組合からは浅沼執行委員長、峰書記長、荒井自治研専門部長、佐藤ケイ子特別執行委員が出席し、浅田生活環境部長同席のもと、浅沼執行委員長から伊藤市長に提案書を手渡しました。浅沼執行委員長は「市民の納得の下で、より良いごみ減量のための施策を実現させるため、この提案を取り入れてほしい。」と申し入れたのに対し、市長は「提言を十分参考にして、月内に作成する実施計画に反映させたい。」と述べました。また、佐藤ケイ子特別執行委員から「市民との協働が一番大切。市民の意見を十分取り入れるには、今のスケジュールでは難しいのでは。」との意見に対し、市長は「多く寄せられている市民の意見や提案書を参考に実施計画書案をまとめ、市議会全員協議会で説明し、議論したい。」と述べました。

今回の提案書は短い取り組み期間だったため、完成度として不足している点は認めませんが、自治研推進委員会でのワークショップを開催して討議を重ねるなどの新たな試みにも取り組み、自治研集会を通して広く市民と共に議論する機会を得て、出された意見を反映させた提案書としてまとめ、最終的に市当局に提出することができたのは、大きな成果だと思います。



### 自治研推進委員会からの提案書は、各分会にも配布しますので、ぜひご覧になってください。

※裏面には今回の提案書提出の新聞報道があります。こちらもご覧ください。また、佐藤ケイ子さんのブログ [http://blog.livedoor.jp/k\\_sato\\_keiko/](http://blog.livedoor.jp/k_sato_keiko/) にも紹介があります。

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第7号  
発行月日 2007年12月26日  
発行責任者 浅沼誠治

## 「家庭ごみ手数料化実施計画(案)」 に対する自治研推進委員会からの パブリック・コメントを提出しました!

10月に北上市の「家庭ごみ手数料化実施計画(案)」が新たに公表され、パブリック・コメントを再度募集していることから、自治研推進委員会としてもこれを検証し、再びパブリック・コメントを提出することを目指しました。自治研推進委員会から寄せられた意見も取り入れ問題点の改善アイデアを出し合い検討した結果、自治研推進委員会からのパブリック・コメントとしてまとめましたので、12月25日付で市のほうに提出しました。

裏面にパブリック・コメントの要旨を掲載しましたので、ご覧ください。また市に提出した全文は各分会に配布しますので、こちらもあわせてご覧ください。

取り組み時間が限られていたため完成度として不足している部分は認めませんが、自治研推進委員会としてパブリック・コメントを提出することができたのは、大きな成果だと思います。



### 今年度の自治研活動を振り返って

今年度は自治研専門部会を10回、自治研推進委員会を4回開催し、第53回自治研集会の開催、パブリック・コメントの提出、自治研推進委員会からの提言書の提出など、より良い家庭ごみ手数料化の実施計画とするため議論を深めてきました。組合員のみなさまのご理解とご協力のおかげでここまで充実した活動ができたことを感謝し、御礼を申し上げます。

※裏面に自治研推進委員会からのパブリック・コメントの要旨を掲載しましたのでご覧ください。

# 自治研ニュース

発行号数 2007年度 第6号  
発行月日 2007年10月23日  
発行責任者 浅沼誠治

## 自治研集会アンケートの集約結果報告

先日の自治研集会では、たくさんの参加者がアンケートの記入に協力をしてくださいました。ごみ手数料化についての賛否は、賛成派(どちらかといえば含む、以下同じ)は25%、反対派は65%、どちらともいえないが9%という結果になりました。

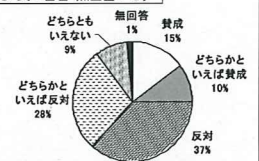
また、賛成派の方の理由としては、ごみの減量のために「はやむを得ない」のが多かった。反対派の方の理由としては、有料化する前にごみの減量のために「もっとできることがあるはずで、できることを全てやったら減量化できなかった場合に導入することははやむを得ない。また有料化する場合でも、時間をかけて住民と協議し合意ができてから初めて導入するべき。」という方が多くの意見でした。

なお、アンケートの集約結果報告は、先日市に提出し各分会にも配布した「家庭ごみ手数料化等に係る基本方針への自治研推進委員会からの提案書」に掲載してあります。また、アンケートで寄せられた意見の全文は、組合事務所に保管してありますので、いつでもご覧になります。

※参加者:160人 回答数:68(男:43 女:22 無回答:3)

Q:ごみ手数料化についてどう思いますか

賛成	10人
どちらかといえば賛成	7人
反対	25人
どちらかといえば反対	19人
どちらともいえない	6人
無回答	1人



以下に、提案書に掲載した以外の代表的な意見を、いくつか紹介します。

- 県内初の試みなので、他の地区の手本となるようにしてほしい。平成20年度は無料、平成21~23年は半分の値上げ、平成24年から有料化するなどの経過措置をとったらどうか。手数料収入の不足分は市の税金で賄うことが有料化の切札ではないのか。
- 昨年からのごみ減量推進委員や今年4月より始まった市民会議の意見提案・検証がされないままに有料化は早すぎる。市民にもっと理解され、ごみ減量の意識向上の上で、実施するべきだ。

※!裏面に続きますので、こちらもご覧ください。

## 北上市職員労働組合では、第53回地方自治研究集会を開催します

今回のテーマは、

# 「どうなる?どうする?ごみ有料化」

~納得のサービスと負担を考えよう!~



北上市職員労働組合の地方自治研究集会は、「地方自治を住民の手に」をスローガンに、市職員と市民による真の地方自治確立をめざして、行政や地域の垣根を越えた率直な意見交換の場として、1957年から毎年開催してきました。

今回は、北上市が「家庭ごみ手数料化等に係る基本方針」を打ち出し、平成20年7月の実施を目指して準備を進めていることから、家庭ごみ手数料化の問題について取り上げます。

自治研推進委員会内でワークショップを2回開催し、基本方針の問題点を洗い出し、それを改善するためのアイデアを考え、提言という形で市当局に提出することをめざしました。基調講演の後に提言の発表や各方面からの意見発表もありますので、市民のみなさんからも意見をいただきながら、一緒に考えていきたいと思います。どなたでもご参加いただけます。たくさんの市民のみなさんのご参加をお待ちしております。

・日時 2007年10月6日(土) 13:00~17:00

・場所 ホテルニューヴェール北上  
(北上市大通り1-3-1 TEL:0197-65-0011)

※駐車場は、北上駅前立体駐車場、北上駅前北駐車場をご利用下さい(有料)

- ・内容
  - 13:00~13:15 開会あいさつ、基調報告
  - 13:15~14:45 基調講演  
「ごみ、ちょっとまって有料化」ごみ有料化の現状と政策争点  
(立正大学社会福祉学部教授 田口 正己氏)
  - 15:00~15:30 市当局によるごみ手数料化の説明
  - 15:30~16:00 自治研推進委員会からの提言
  - 16:00~16:45 意見発表  
(手数料化賛成、手数料化反対、別の視点からの各意見、他)
  - 16:45~17:00 集会報告、閉会



・主催 北上市職員労働組合 地方自治研究推進委員会 (TEL64-2111 内線3541)

※裏面には基調講演の講師の紹介があります。こちらもご覧ください。